

芦屋市水道事業経営審議会答申書

平成30年3月2日

芦屋市水道事業経営審議会

平成30年3月2日

芦屋市長 山中 健 様

芦屋市水道事業経営審議会
会長 西尾 宇一郎

本市水道事業経営のあり方について（答申）

芦屋市水道事業経営審議会は、平成29年4月29日付「本市水道事業経営のあり方」について諮問依頼を受け、芦屋市水道ビジョン（案）及び芦屋市水道事業経営戦略（案）、上下水道部より提出された芦屋市水道事業についての様々な資料を慎重に審議をした結果、次のとおり答申します。

「芦屋市水道ビジョン」では、経営理念として「市民に対し『安心・安全』、『持続』ある水道を目指し、より豊かで『環境』に配慮した快適な社会の創造に貢献していきます。」を掲げ、その実現のための経営目標に基づき、各施策が展開されている。

「安全・安心・持続」のためには、財政の健全化、水道施設の更新並びに耐震化投資、人材育成による技術継承が重要である。

近年、節水機器の普及・高性能化等により給水量は減少傾向にあり、営業収益の増加が見込めない一方、耐震化の推進や老朽管等の水道施設の更新時期のため多額の支出が必要となり、厳しい経営状況が続いている。

芦屋市水道ビジョン、芦屋市水道事業経営戦略では、適正な人員配置や民間委託の推進による職員給与費の縮減、老朽管等の耐震化対策による効率的就業かつ計画的な投資等により、水道料金を据え置いたまま、安心・安全・持続ある水道を目指している。

しかし、これについては以下の課題がある。

供給単価が給水原価より低いため、料金回収率は100%を下回っている（平成28年度では、供給単価は167.67円/m³、給水原価は171.66円/m³）。また、施設整備に要した企業債残高は、投資・財政計画によると毎年増加していく見込みである。収支不足を補っている兵庫県住宅供給公社からの年間約1億1,900万円の水利負担金収入は平成37年度で終了となる。このままでは、財政の健全化を果たし、十分な投資資金の確保の実現は困難であると言わざるをえない。

さらに、人員の減少等による職員給与費の減少が計画されているが、大幅な職員数減により、技術継承への影響や市民サービスの低下が懸念される。

そこで、以下の対策が必要と考える。

- (1) 料金回収率が100%以上となるように努力されたい。

そのためには、一層の経営の効率化やアウトソーシング等を検討し、また、将来的には、投資・財政計画を踏まえて、水道料金の改定も検討されたい。

従来からの課題である阪神水道企業団に対する受水費の過払額（平成28年度では、実際受水量に受水単価を乗じた額と実際支払額との差額は約6,900万円）の削減についても、交渉継続が必要である。

- (2) 職員数の適正化については、将来の組織図等を具体的に描いて、適正化する部署、外部委託化する部署等を明確にし、水道事業経営に支障が生じないようにされたい。

また、技術継承については、近隣自治体や阪神水道企業団との技術研修や相互支援等、連携を密にすることが必要である。

- (3) 老朽化した施設の更新及び耐震化を計画的に進めるとともに、投資にあたっては、ライフサイクルコストを踏まえ、高耐久性のある材料の導入に取り組まれたい。

さらに、以下の点を指摘しておく。

- (4) 芦屋市水道ビジョン並びに芦屋市水道事業経営戦略を実効あるものにするためには、その進捗について定期的に評価し、速やかに改善につなげる必要がある。そのため、定期的に評価する仕組みを検討されたい。

- (5) 経営理念には、「開かれた水道事業を目指し『情報公開』をより一層推進していきます。」とある。しかし、この度の芦屋市水道ビジョン及び芦屋市水道事業経営戦略についてのパブリックコメントでは、市民から意見の応募が全くなかった。また、平成29年2月に実施された「水道利用者意識調査」において、ホームページの認知度が低いことが明らかとなった。水道は市民にとって重要なライフラインである。水道事業に対する市民の関心を高める施策に取り組まれたい。

以 上

芦屋市水道事業経営審議会審議経過

	開催年月日	審議内容
第1回	平成29年4月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・会長等の選出 ・会長職務代理者の指名 ・本市水道事業経営のあり方について ・芦屋市水道事業の現況 ・今後の審議会の日程，内容等
第2回	平成29年6月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・水道施設現地見学 (1) 市内施設 <ul style="list-style-type: none"> ア 奥山浄水場 イ 総合公園（耐震性貯水槽） (2) 阪神水道企業団施設 <ul style="list-style-type: none"> ア 大道取水場（大阪市東淀川区） イ 尼崎浄水場（尼崎市）
第3回	平成29年8月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・芦屋市水道ビジョン（平成29年度改訂版）【原案】及び芦屋市水道事業経営戦略【原案】について
第4回	平成29年11月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントの結果について ・芦屋市水道ビジョン（平成29年度改訂版）【原案】及び芦屋市水道事業経営戦略【原案】の審議
第5回	平成30年1月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・水道事業経営審議会答申案審議

芦屋市水道事業経営審議会委員名簿

(敬称略・五十音順)

選 出 区 分	氏 名	職 業 (役 職) 等
知 識 経 験 者	井 上 佳 昭	大阪ガス株式会社 兵庫・姫路統括 地区支配人 兼 兵庫地区支配人 理事
	小 湊 雅 子	弁護士
	◎ 西 尾 宇一郎	公認会計士 関西学院大学 経営戦略研究科教授
	○ 政 岡 勝 治	芦屋大学 経営教育学部教授
市 民	北 村 佳 子	芦屋市自治会連合会
	久保田 奈々	芦屋市PTA協議会
	椎 森 俊 介	市民公募委員
	杉 島 健 文	市民公募委員
	長 谷 啓 弘	芦屋地方労働組合協議会
	藤 田 芳 子	芦屋市商工会
	渡 辺 史 恵	芦屋市コミュニティ・スクール 連絡協議会
市 職 員	脇 本 篤	総務部参事 (財務担当部長)

◎ 会長

○ 会長職務代理者

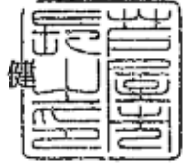
芦水管第A15号

平成29年4月29日

芦屋市水道事業経営審議会

会長 西尾 宇一郎 様

芦屋市長 山中



本市水道事業経営のあり方について（諮問）

陽春の候、ますますご清祥のことと、お慶び申し上げます。

さて、「芦屋市水道ビジョン」及び「経営戦略」について芦屋市附属機関に関する条例第2条の規定により貴審議会に諮問します。

以上